



編集
高田小PTA部
高広報

発行責任者
PTA会長 二名 謙
児童数 373名在
2月22日現在
印刷クギヤ印刷棟

新たな一年を振り返り



PTA会長 坂元 謙一
一年間PTA会長を務め
させていただきました。先生方や保護者の
方々、PTA会員の皆様、

一年間大変お世話になりました。本部役員として活動した後の会長職でしたが、至らない点やご迷惑をおかけしたこともあったかと思えます。そんな中でも無事一年間活動を終えることができたのも皆様の温かいお心遣いがあったからこそだと感じています。

コロナ禍明けということもあり、新しいスタイルでの活動等も少しずつなりました。子どもたちの学校生活も少しずつ時代の変化にあわせてスタートし、再開が始まっています。そんな子どもたちの学校生活を、少しでも過ごしやすいようにサポートすることを目標に私たちPTA本部メンバーも活動の在り方等を考えているところでもあります。

そのような中、本年度は緑あつて高田小学校百五十周年という記念すべき年に会長職を仰せつかり、活動を行ってまいりましたが、昨年十一月に無事開催することができたのも藤崎実行委員

一年間を振り返って



校長 上村 智俊

早いもので、着任して一年が過ぎようとしています。今年度は五月に新型コロナウイルスの取り扱いが

変わり、令和の学校づくりは新しいステージに突入したと思っております。そのような中でPTA活動をはじめ、百五十周年の記念事業等、保護者や地域の皆様へ支えられ、子供たちは一年間の学習に励むことができました。心よりお礼申し上げます。高田校区の皆様には、大変温かく本校の子供たちを見守っていただいております。本校の子供たちが素直に育っているのは、御家庭と地域の皆様のおかげだと日々感じております。

今年度は様々な取組を実施しました。特に百五十周年の記念事業は子供たち、職員の方に深く刻まれました。校内環境の整備も進みました。関係者の皆様の努力に頭の下がる思いで

長をはじめ委員のメンバーや各PTAの方々の協力の賜物と感じております。現高田小の子どもたちにとっても、心に残る時代の出来事の一つになればと思っております。このようにPTA役員として様々な行事などに携われることで、子どもたちの成長も近くで見ることができ、親としては大変ありがた一年でした。また、地域の皆様のご理解と厚い支援に支えられていることを改めて実感することもできました。

子どもたちは日々成長し、同時に時代も目まぐるしく変わっています。子どもたちがたくましく育ち、紆余曲折ある時代の波にも耐えながら将来の目標に進むことができるためには、親も一緒に学んでいかなければなりません。高田小学校には、PTA活動を通して親が改めて子育てを学べる環境があると思います。高田小学校の良さを生かしながら、子どもたちが伸び伸びと成長できる環境をこれからも作り続けていくことが大切だと感じています。今後もPTA活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

PTA会長という大きな仕事をいただき、責任感も今までになく感じた一年でした。人と人との繋がり大切さを感じた一年間でもありました。PTA活動に関わってくださったすべての方への感謝の気持ちと伴に心よりお礼申し上げます。

百五十周年の間に教育には不易と流行がありましたが、その時々教育方針、指導方法が存在していました。それは教育が社会のあり方と密接に関わっていたからです。もし、変わらぬものがあるとしたら、それは子供たちを大事に、リスベクトして向き合うことです。つまり、子供たちが幸せに、安心して生活して、大人になっても学ぶて楽しんでいくという体験の種を持って、自分の人生を選び幸せになることだと思えます。子供たちは楽しそうに学ぶ大人からきくと学ばずです。できない理由を語ってうつく大人からは学ばないと思えます。予測できない未来に対処し、課題を解決し、生き抜く力を子供につけるのが私たち大人の責務です。これまでの教育を振り返り、これからの教育が、この国の未来が、どうあつたらよいか一人一人が真剣に考え、行動しなければなりません。そのような教育ができる百五十一年目の高田小学校を職員一丸となつて創ってまいります。ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

先生から卒業メッセージ

卒業生のみなさんへ

六年一組担任 鳥越 星

私が六年生のみなさんと出会ったのは、去年の四月。卒業まで一年というみなさんとの出会いに、少しの緊張とたくさんの楽しみな気持ちで迎えました。すぐに笑顔で迎えてくれました。一緒に過ごしたこの一年は、高田小学校創立百五十周年という節目と重なり、特に活躍の機会が多かったように思います。運動会での全校応援は、みんなで声を出して応援する楽しさを感じた人も多かったのではないのでしょうか。また、修学旅行や中学校の見学、オーケストラ鑑賞、記念式典など、行事もたくさんありました。大忙しの一年間でしたね。教室では、「明日も元気に学校に」「二日一日を大切に」と繰り返して言いました。今年の元日に起きた能登半島地震。改めて日常を「大切に」することを考えさせられた年になりました。これから中学生になって、さらに自分の進路に向けて成長していく過程で、悩みが起きたり問題に直面したりすることがあると思います。そんなときは、周りにいるだれかを頼ってください。だれかに相談してください。全ては話せなくても、話を聞いてもらえると、少しだけ心が落ち着くと思います。自分は高田小でこんなに成長してきたから大丈夫と、自分自身に自信をもってください。新しいことにチャレンジできる力が、みなさんにはきっとあります。何事も、思い切り、楽しんでください！これからも、応援しています。ご卒業、おめでとうございます。

言葉

六年二組担任 大山 哲司

「向き 不向きより 前向きに」
先生の好きな言葉です。得意なこと、不得意なこと、人それぞれありますよね。やってもいけないけれど、ネガティブな感情になつてしまふこと。あると思えます。そう思ったとしても、とにかくやってみる。前向きにやってみる。心のもちょうで、世界の見え方は意外と変わるものですね。
言葉にするこの大切さを感じた一年でした。毎週末に出していた宿題のふりかえり。週明けに読むのが楽しみでした。そして、作文も。四月の頃、どのように書いてよいか分からなかったものでしょう。十行ある内の二行、三行くらいで終わる人が多くいました。しかし、二学期くらいからでしょうか、多くの人が八行以上は書いていました。裏面に行く人も何人かいましたね。そして、何より言葉が変化していることに感動しました。
友達との行動の良さに気づき、行動からどのような思いが伝わるのかを書く人。
インパクトのある書き出しで、物語調のようにふりかえる人。
素直な心で、自分と向き合い、なりたい自分の理想を書く人。
誰かではなく、六の二の全員がMVPだとふりかえる人。
表面上のことではなく、不可視の部分に注目し、言葉を紡いできたのだと思えます。そういえば、道徳のふりかえりを読むのも好きでした。一生懸命ひねり出したみなさんの言葉には、いつも思いが詰まっています。
これからも、言葉を大切にして、人生を歩んでください。ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんへ

なかよし二組担任 田中 幸恵

ご卒業、おめでとうございます。大きなランドセルを背負って登校した日から、六年が経ちました。四月からは、いよいよ中学生です。小学校六年間の思い出を胸に、中学校でもたくさんの経験をし、自分らしく進んで行って下さい。出会った方々には、感謝の気持ちを忘れずに人になつて下さい。夢に向かって大きく羽ばたく皆さんのことを、応援しています。

卒業するみなさんへ

なかよし二組担任 橋本 譲治

六年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。高田小学校で過ごした六年間はどんな六年でしたか。みなさんは最上級生として、委員会や縦割り班活動では、活動の中心になり、下級生のことまで考えてしっかりとお世話をしてくれました。また、運動会などいろいろな活動で高田小学校を引っ張り、下の学年のお手本として頑張っている姿を見るたびに、大きな成長が感じられてとてもうれしく思いました。りっぱに成長した皆さん。みなさんの成長には、みなさん一人一人の頑張りが大きくつなげられていると思えます。ただ、それだけではありません。ともに過ごした仲間や地域の方々、先生や部活動等の指導者の方々、みなさんの周りの人達の支えのおかげでもあります。自分の頑張りを認めつつも、周りのみんなも大切にできる人になつていってほしいと思います。四月からは中学生になります。中学校では、小学校ではできなかったことにもチャレンジできるようなります。いろいろなお事に前向きに取り組んで、自分の進む道を見つけていってください。今後のみなさんの未来がよりよいものになることと、みなさんの活躍を楽しみにしています。



学年行事



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

150周年記念事業



温知の森剪定 (1/13・14)



ソテツ撤去 (1/29～31)

大谷翔平選手 グローブ寄贈



PTA活動



あいさつ運動 (1/9)

